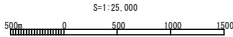
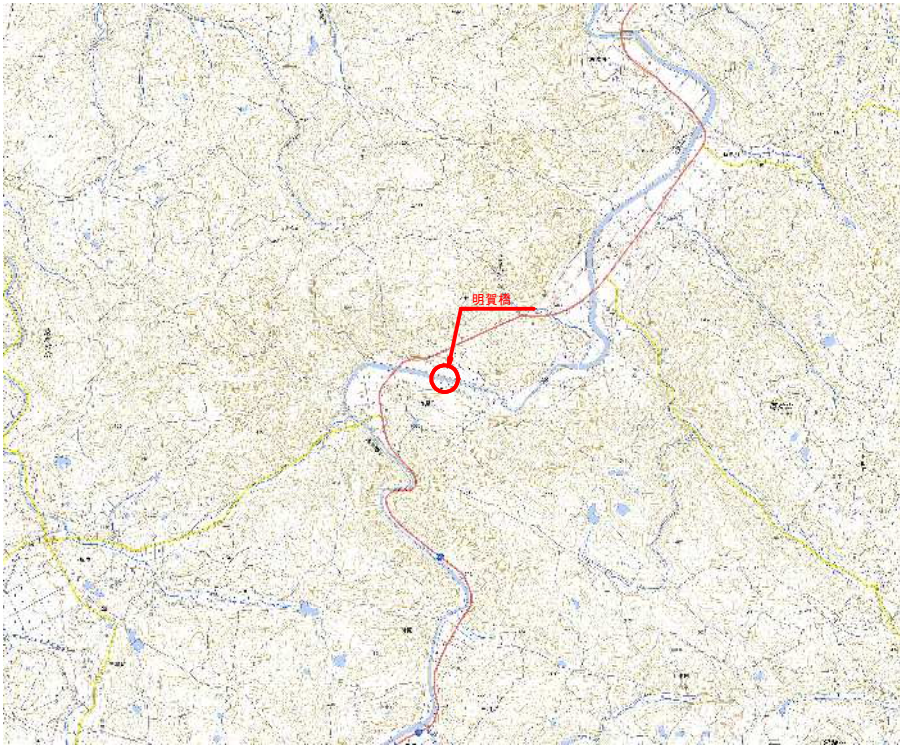
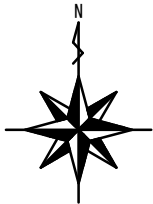


位置図

S=1:25000



国土地理院発行 地形図「甲立」「吉倉」を使用

【明賀橋】

工事名	設計第23号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	位 置 図		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		

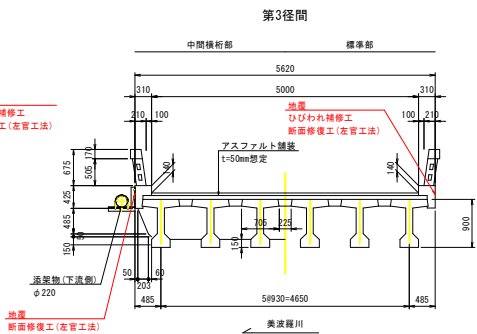
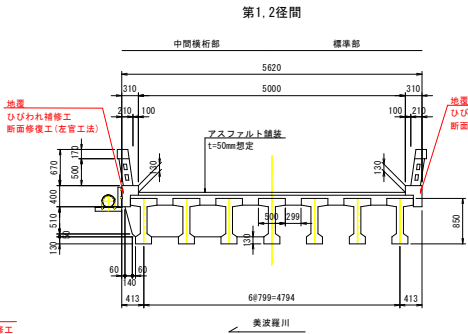
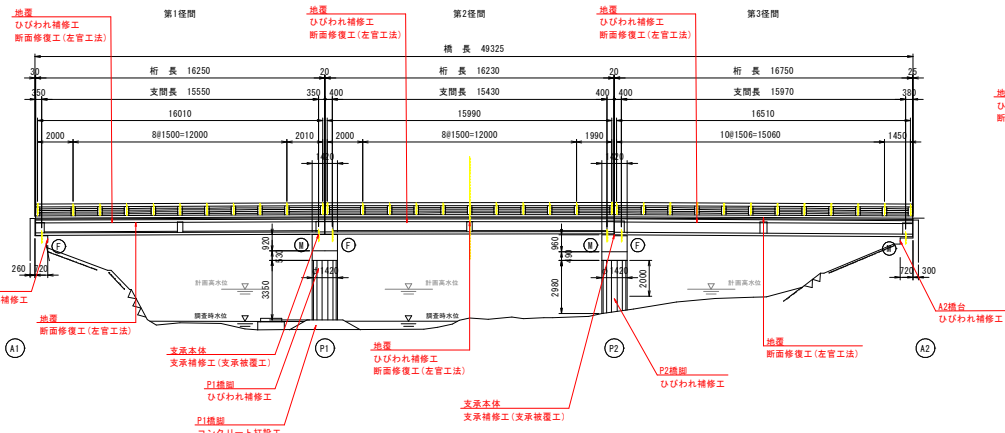
明賀橋 補修一般図

S=1:150

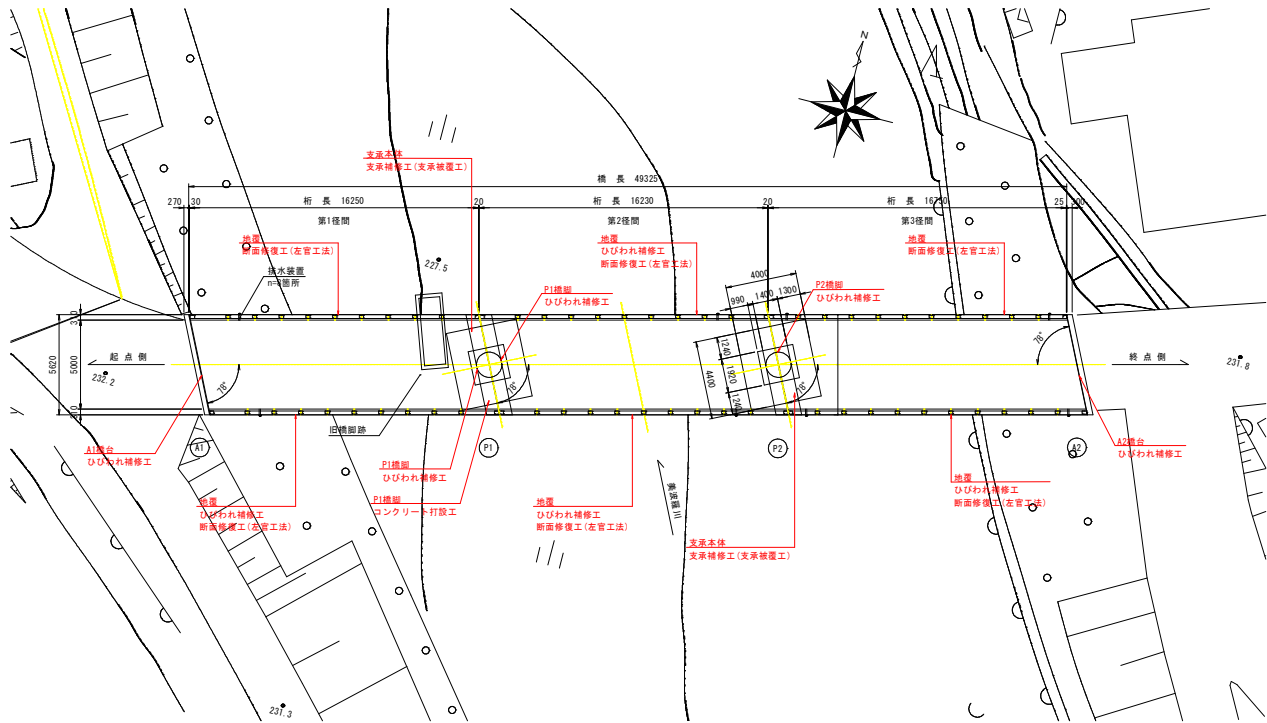
側面図

横断面図

S=1:50



平面図



補修項目一覧表

部 位	工 種	損傷判定区分
下部工	橋 台	ひびわれ補修工 (注入工法)
	橋 脚	P1 ひびわれ補修工 (注入工法)、コンクリート打設工
		P2 ひびわれ補修工 (注入工法)
支保部	支保本体 (P1, P2)	支保補修工 (支保被覆工)
路上	地盤	ひびわれ補修工 (注入工法)
		断面修復工 (左官工法)

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託 (15m以上)
図面名	補修一般図
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	図示 図面番号 2 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業所名	三次市 設計部 土木課

注記)
1) 本図は、橋梁定期点検調査及び前回補修設計成果品を基に復元した。
2) 支保については固定、可動が現地計測で特定できなかった為想定とした。

明賀橋 補修図(その1)

S=1:50

第1径間(A1-P1径間) (桁下面, 地覆)

断面修復工(左官工法)

凡 例

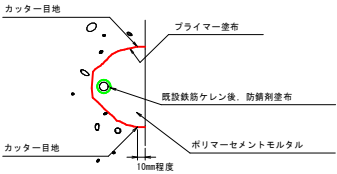
(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済み・健全

断面修復工数量表 (左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 ㎡	断面修復材 体積 m3
		短辺 mm	長辺 mm	深さ mm		
A1-P1径間(桁下面) 地覆部						
D-1	鉄筋露出	100	100	50	0.01000	0.00050
D-2	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-3	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-4	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-5	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-6	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-7	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-8	鉄筋露出	100	250	50	0.02500	0.00130
D-9	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-10	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-11	うき	50	200	50	0.01000	0.00050
合計					0.06900	0.00310

断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定
すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その1)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	3 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

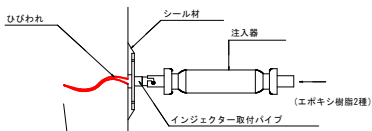
明賀橋 補修図(その2)

S=1:50

第1径間(A1-P1径間) (地覆)

ひびわれ補修工(注入工法), 断面修復工(左官工法)

ひびわれ注入工詳細図

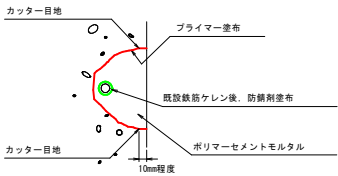


【ひびわれ注入工】
※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。
※数量算出条件
・ひびわれ深さ 120mm
・注入器は300mm間隔とする

地覆<ひびわれ注入工>

記号	寸法	
	幅 (mm)	長さ (mm)
H1	0.20	1000
計	2950	

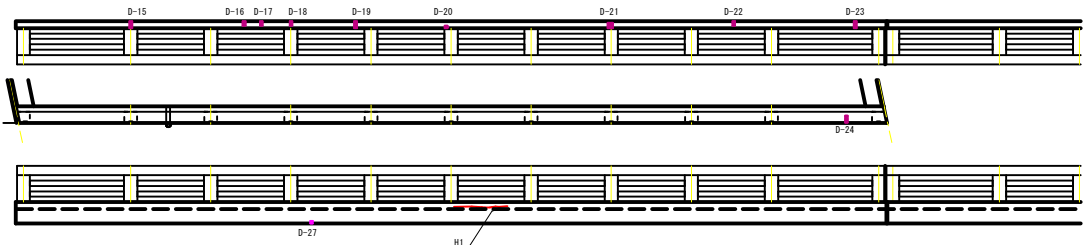
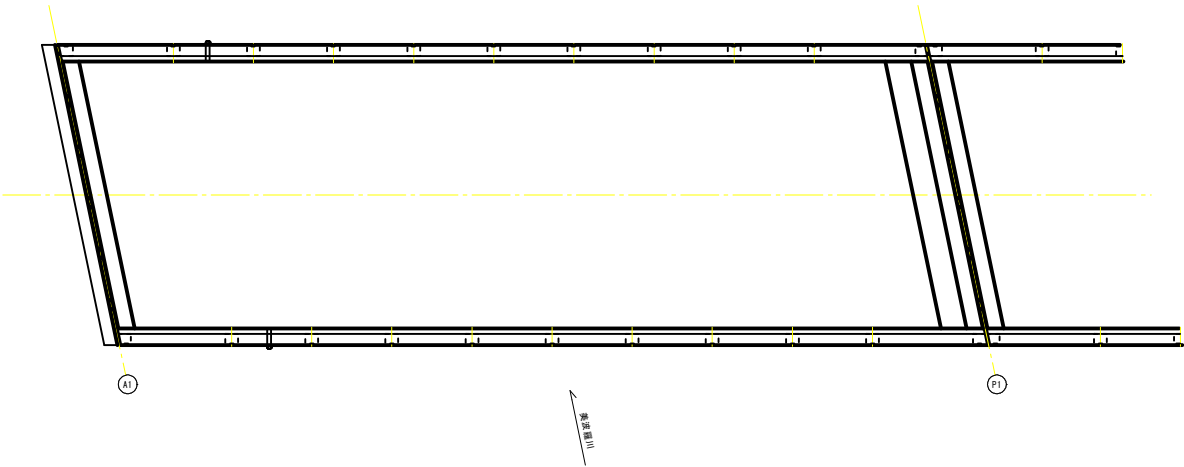
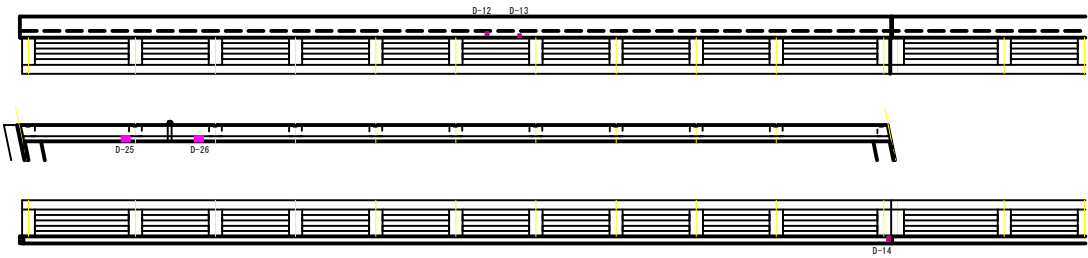
断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表 (左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 n2	断面修復材 体積 n3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
1径間上部工（地覆）						
D-12	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-13	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-14	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-15	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-16	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-17	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-18	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-19	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-20	鉄筋露出	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
D-21	鉄筋露出	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-22	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-23	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-24	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-25	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-26	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-27	欠損	0.05	0.05	50	0.0030	0.00015
合計					0.1090	0.0055



凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済み・健全

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その2)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	4 / 15
会社名	中電技術コンサルタンツ株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

S=1 : 50

ひびわれ補修工(注入工法), 断面修復工(左官工法)

地覆くひびわれ注入工>

記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)
H1	0.30	500
計		500

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	新築修繕材 体積 m3
		短辺 n	長辺 n	深さ mm		
P1-P2路間(軒下室): 地震部						
D-1	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-2	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-3	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-4	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-5	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-6	うき	50	50	50	0.00300	0.00010
D-7	うき	50	50	50	0.00300	0.00010
D-8	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-9	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-10	うき	100	300	50	0.03000	0.00150
合計					0.05700	0.00240

凡 例		(模様の形状寸法の単位はmmとする。)
表 示	模様の種類	
	単色	
	防食機能の劣化	
長さ (mm)	ひびわれ (開口幅 2mm未満)	
	ひびわれ (開口幅 2mm以上 5mm未満)	
幅 × 長さ (mm)	ひびわれ (開口幅 5mm以上 1.0mm未満)	
	ひびわれ (開口幅 0mm以上)	
	剥離	
幅 × 長さ (mm)	鉄筋露出	
	遊離石灰	
幅 × 長さ (mm)	うき	
	その他	
幅 × 長さ (mm)	豆板・空洞	
幅 × 長さ (mm)	路面のクラック	
	漏水・湧水	
幅 × 長さ (mm)	変形・欠損	
	土砂詰まり・腐蝕	
	補修済及び健全	

工事名	設計第33号 横浜豊登設計事務所(15m以上)		
図面名	補修図(その3)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	5 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

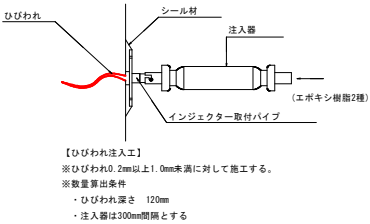
明賀橋 補修図(その4)

S=1:50

第2径間(P1-P2径間) (地覆)

ひびわれ補修工(注入工法), 断面修復工(左官工法)

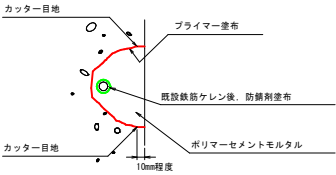
ひびわれ注入工詳細図



地覆<ひびわれ注入工>

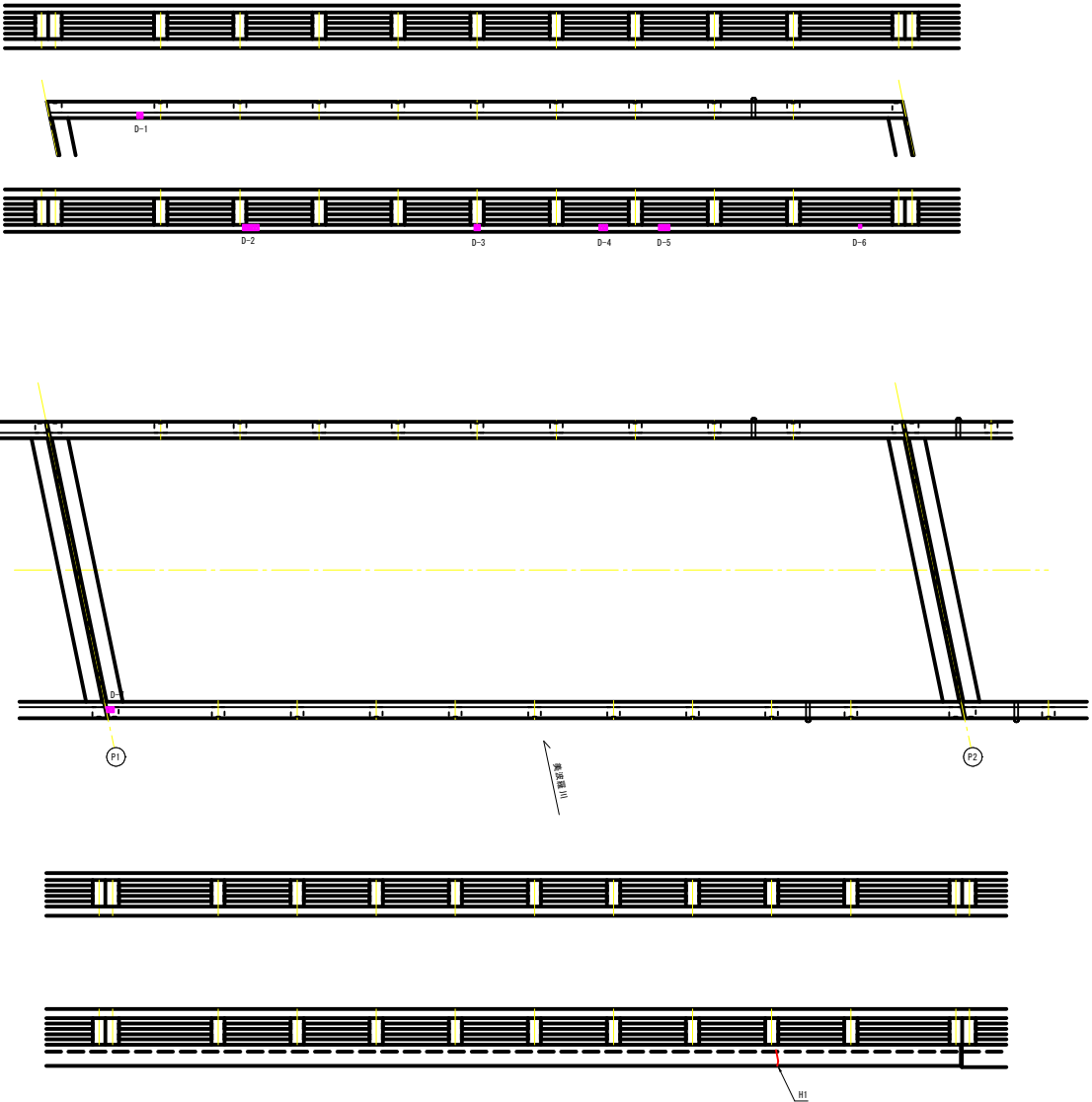
記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)
H1	0.20	300
計		300

断面修復工詳細図(左官工法)



断面修復工数量表(左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 n	長辺 n	深さ mm		
2径間上部工（地覆）						
D-1	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-2	欠損	0.10	0.30	50	0.0300	0.00150
D-3	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-4	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
D-5	欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
D-6	欠損	0.10	0.10	50	0.0100	0.00050
D-7	欠損	0.10	0.15	50	0.0150	0.00075
合計					0.1100	0.0055



凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その4)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	6 / 15
会社名	中電技術コンサルタンツ株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

明賀橋 補修図(その5)

S=1:50

第3径間(P2-A2径間)(桁下面,地覆)

断面修復工(左官工法)

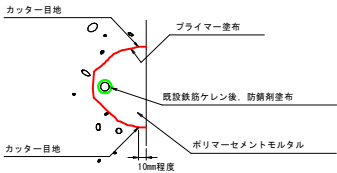
凡 例 (損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済み・健全

断面修復工数量表 (左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 mm	長辺 mm	深さ mm		
P2-A2径間(桁下面)・地覆部						
D-1	欠損	50	50	50	0.00300	0.00010
D-2	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-3	鉄筋露出	50	50	50	0.00300	0.00010
D-4	うき	50	150	50	0.00800	0.00040
D-5	うき	50	150	50	0.00800	0.00040
D-6	うき	150	350	50	0.05300	0.00260
D-7	鉄筋露出	50	150	50	0.00800	0.00040
合計					0.08600	0.00410

断面修復工詳細図(左官工法)



【断面修復工】
※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

【明賀橋】

工事名	設計第23号橋梁整備設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その5)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:50	図面番号	7 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

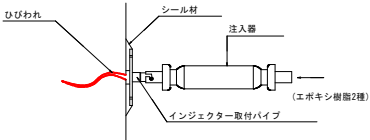
明賀橋 補修図(その6)

S=1:50

第3径間(P2-A2径間) (地覆)

ひびわれ補修工(注入工法), 断面修復工(左官工法)

ひびわれ注入工詳細図



【ひびわれ注入工】

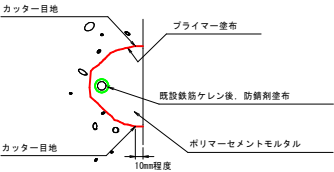
- ※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。
※数量算出条件
・ひびわれ深さ 120mm
・注入器は300mm間隔とする

地覆くひびわれ注入工

番号	形状 L(mm)
Y1	200
Y2	550
Y3	300
Y4	200
Y5	200
Y6	200
Y7	200
Y8	1300
Y9	350
Y10	200
Y11	400
Y12	200
Y13	300
Y14	300

※遮断石灰部ひびわれ幅W=0.20mm想定。

断面修復工詳細図(左官工法)

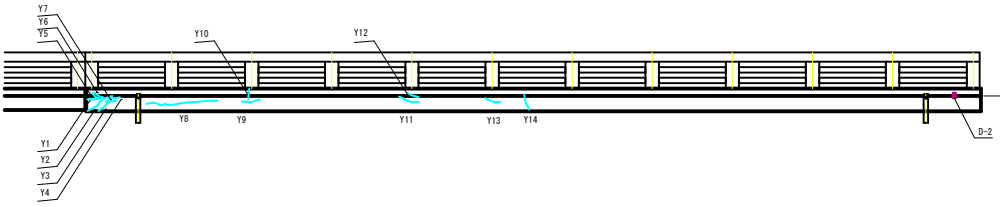
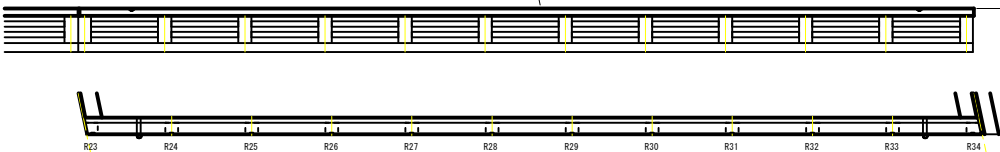
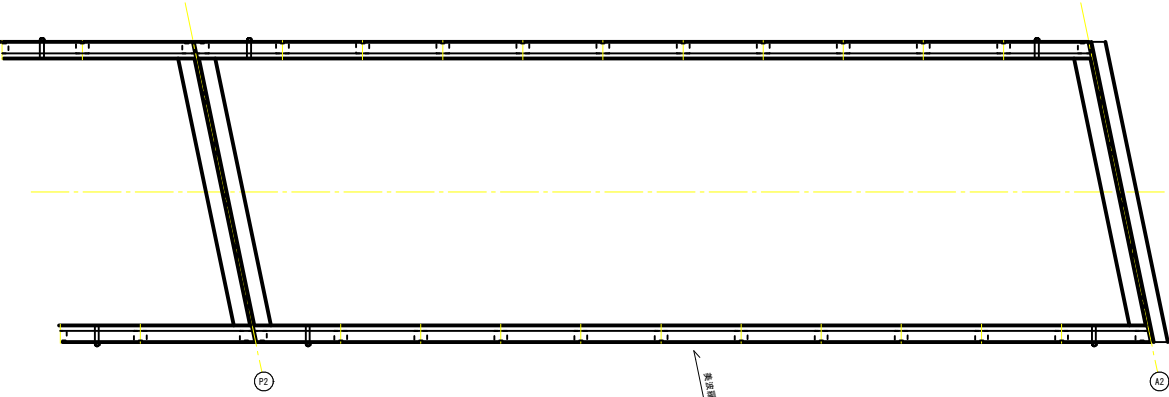
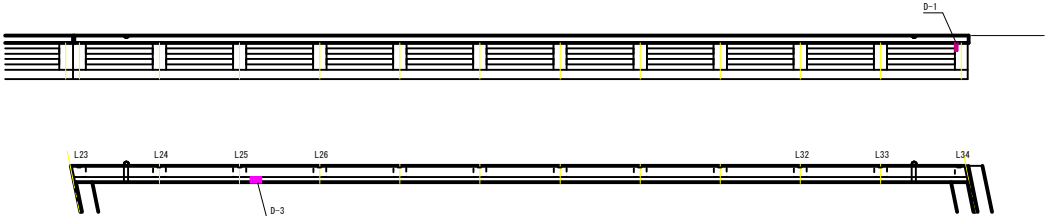


【断面修復工】

- ※施工時には劣化部位を再確認の後、はつり範囲を決定すること。
※はつり厚は、劣化部位の状況により調整を行うこと。
※数量算出条件
・はつり深さ 50mm

断面修復工数量表(左官工法)

損傷 番号	損傷	損傷範囲			損傷面積 m2	断面修復材 体積 m3
		短辺 m	長辺 m	深さ mm		
3径間上部工（地覆）						
D-1	鉄筋露出	0.05	0.15	50	0.0080	0.00040
D-2	鉄筋露出	0.05	0.10	50	0.0050	0.00025
D-3	欠損	0.10	0.20	50	0.0200	0.00100
合計					0.0330	0.0017



凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遮断石灰
	うき
	その他
	底板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その6)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50
図面番号	8 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 設計部 土木課

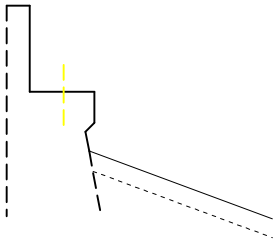
明賀橋 補修図(その7)

S=1:30

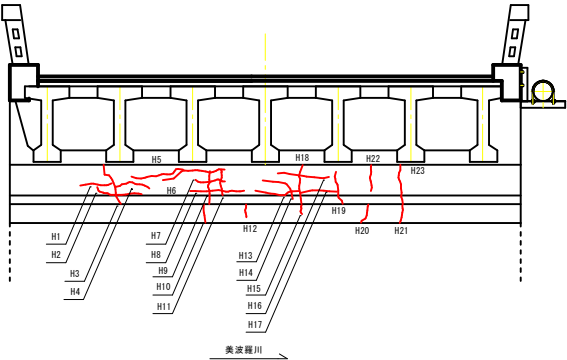
下部工 (A1橋台), 支承部補修工 (支承被覆工)

ひびわれ補修工 (注入工法)

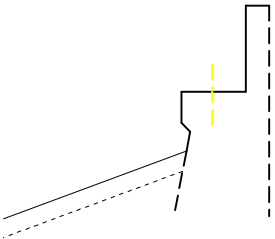
側面図



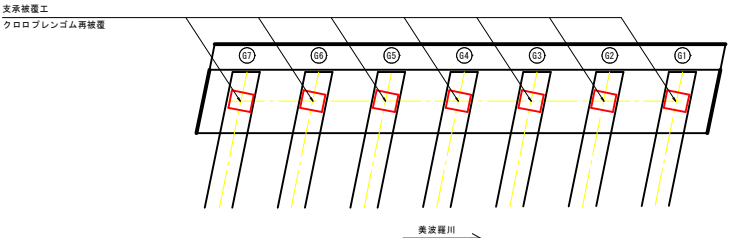
正面図



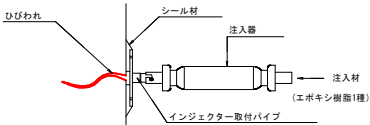
側面図



沓座平面図



ひびわれ注入工詳細図



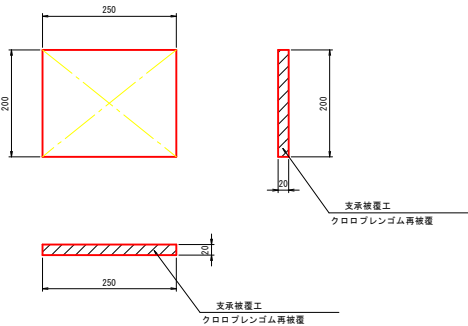
【ひびわれ注入工】
※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。
※数量算出条件
・ひびわれ深さ 120mm
・注入器は300mm間隔とする

橋台<ひびわれ注入工>

記号	寸法		記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)		W (mm)	L (mm)
H1	0.20	350	H13	0.20	500
H2	0.20	500	H14	0.20	400
H3	0.20	450	H15	0.20	150
H4	0.20	400	H16	0.20	600
H5	0.20	600	H17	0.20	300
H6	0.30	900	H18	0.20	500
H7	0.20	400	H19	0.20	400
H8	0.20	700	H20	0.20	250
H9	0.20	750	H21	0.20	250
H10	0.25	250	H22	0.20	450
H11	0.20	250	H23	0.20	500
H12	0.20	200	計		10050

A1 支承被覆詳細

S=1:5



支承被覆工数量表

箇所	数量 (基)	面積 (m2)
A1橋台	7	$(0.25 \times 0.20) \times 2 \times 0.020 \times 7 = 0.126 \text{ m2}$

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託 (15m以上)		
図面名	補修図 (その7)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	9 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

明賀橋 補修図(その8)

S=1:50

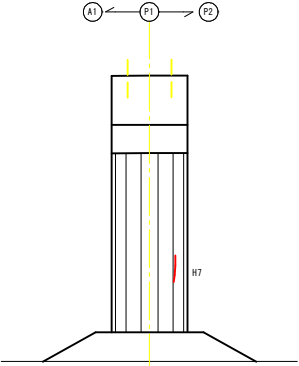
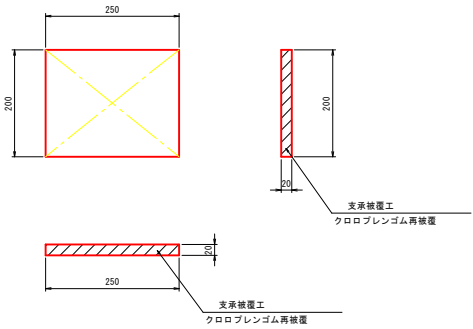
凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遮断石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済み・健全

P1(起点側)(終点側) 支承被覆詳細

S=1:5

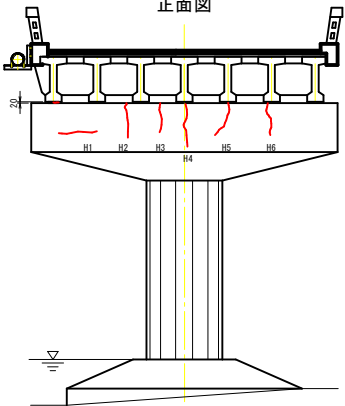


下部工 (P1橋脚)

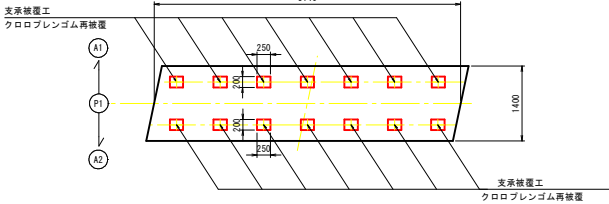
ひびわれ補修工 (注入工法) (充填工法), 支承部補修工 (支承被覆工)

P1橋脚 (A1側)

正面図

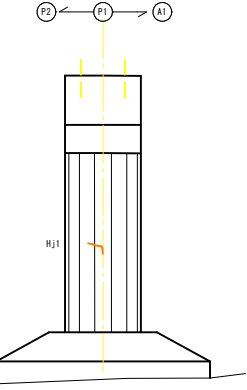
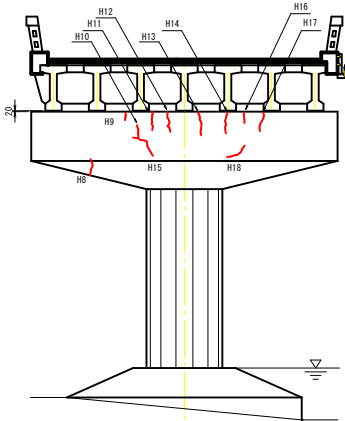


平面図

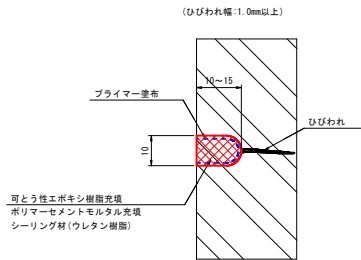


P1橋脚 (P2側)

正面図



ひびわれ充填工詳細図



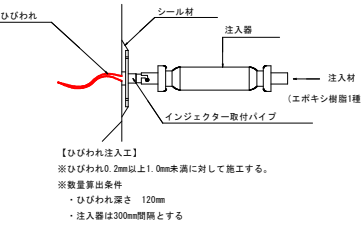
P1橋脚<ひびわれ充填工>

記号	寸法
W (mm)	L (mm)
Hj1	1.00 350
計	350

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その8)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50 図面番号 10 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 設計部 土木課

ひびわれ注入工詳細図



橋脚<ひびわれ注入工>

記号	寸法
W (mm)	L (mm)
H1	0.20 700
H2	0.20 650
H3	0.20 550
H4	0.20 800
H5	0.20 650
H6	0.20 600
H7	0.20 500
H8	0.20 300
H9	0.20 150
H10	0.20 250
H11	0.20 350
H12	0.20 500
H13	0.20 600
H14	0.20 400
H15	0.20 500
H16	0.20 200
H17	0.20 350
H18	0.20 400
計	8450

明賀橋 補修図(その9)

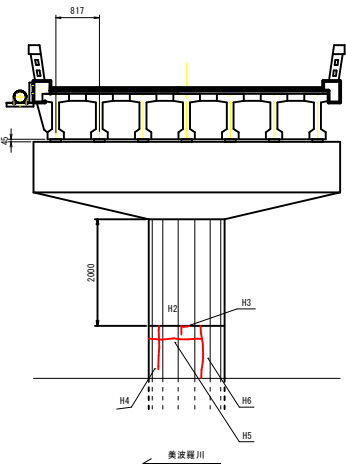
S=1:50

下部工 (P2橋脚)

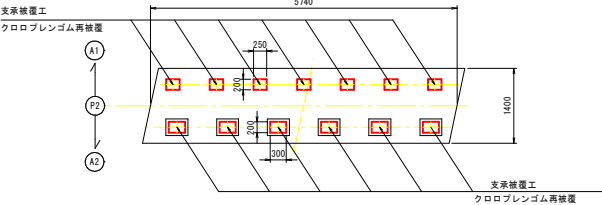
ひびわれ補修工 (注入工法), 支承部補修工 (支承被覆工)

P2橋脚 (P1側)

正面図

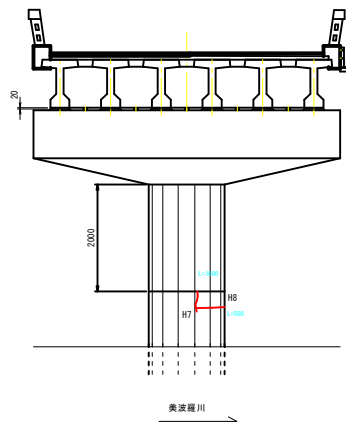


平面図



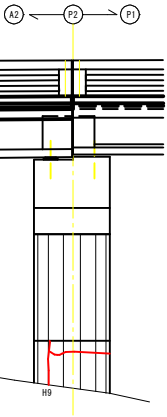
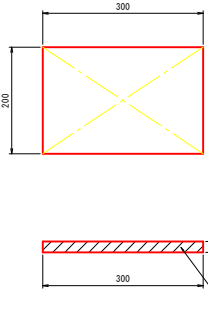
P2橋脚 (A2側)

正面図



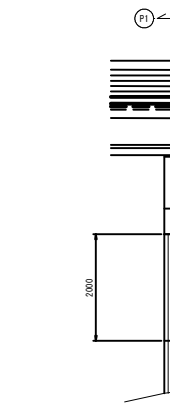
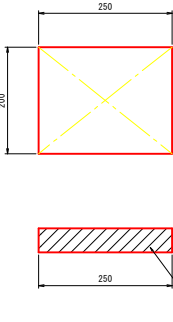
P2(終点側) 支承被覆詳細

S=1:5

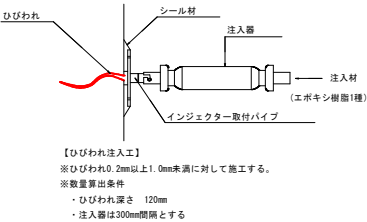


P2(起点側) 支承被覆詳細

S=1:5



ひびわれ注入工詳細図



橋脚くひびわれ注入工

記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)
H1	0.30	900
H2	0.20	150
H3	0.20	150
H4	0.20	800
H5	0.50	1900
H6	0.30	950
H7	0.20	400
H8	0.20	500
H9	0.40	800
計		6550

支承被覆工数量表

箇所	数量 (基)	面積 (m ²)
P2(起点側)	7	(0.25+0.20)×2×0.045×7 = 0.284 m ²
P2(終点側)	6	(0.30+0.20)×2×0.020×6 = 0.120 m ²
合計	12	0.243 + 0.120 = 0.363 m ²

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	腐食・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	補修図(その9)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50 図面番号 11 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 設計部 土木課

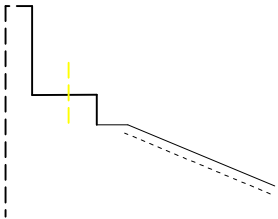
明賀橋 補修図(その10)

S=1:30

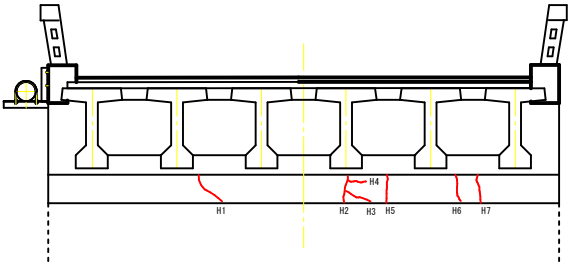
下部工 (A2橋台)

ひびわれ補修工(注入工法), 支承部補修工 (支承被覆工)

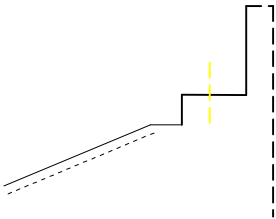
側面図



正面図

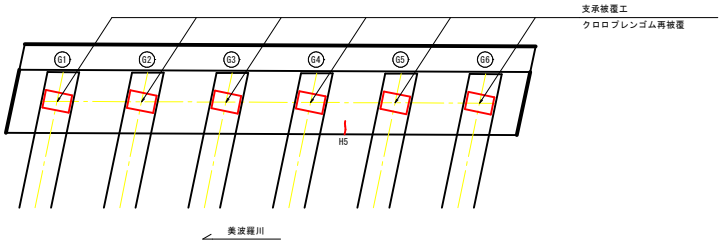


側面図



美波羅川

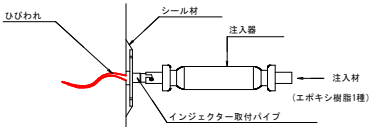
沓座平面図



支承被覆工
クロロレンダム再被覆

美波羅川

ひびわれ注入工詳細図



【ひびわれ注入工】

※ひびわれ0.2mm以上1.0mm未満に対して施工する。

※数量算出条件

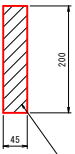
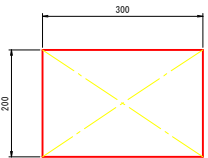
- ・ ひびわれ深さ 120mm
- ・ 注入器は300mm間隔とする

橋台<ひびわれ注入工>

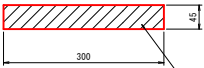
記号	寸法	
	W (mm)	L (mm)
H1	0.30	400
H2	0.40	300
H3	0.30	300
H4	0.20	200
H5	0.20	500
H6	0.40	500
H7	0.30	350
計		2550

A2 支承被覆詳細

S=1:5



支承被覆工
クロロレンダム再被覆



支承被覆工
クロロレンダム再被覆

支承被覆工数量表

箇所	数量 (基)	面積 (m2)
A2橋台	6	$(0.30 \times 0.20) \times 2 \times 0.045 \times 6 = 0.270 \text{ m2}$

【明賀橋】

工事名	設計第13号橋梁修繕設計業務委託(15m以上)		
図面名	補修図(その10)		
作成年月日	令和 5 年 3 月		
縮尺	1:30	図面番号	12 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 設計部 土木課		

明賀橋 補修図(その11)

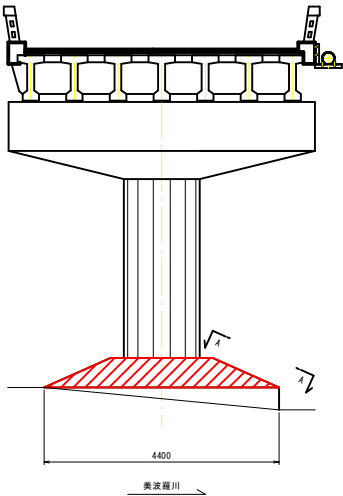
S=1:50

下部工 (P1橋脚)

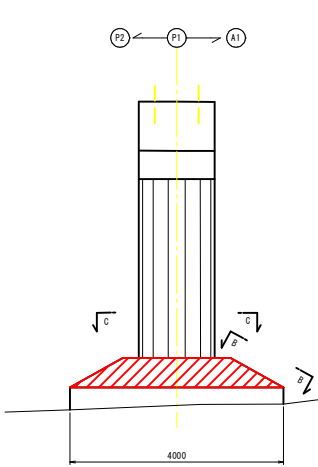
コンクリート打設工

P1橋脚 (P2側)

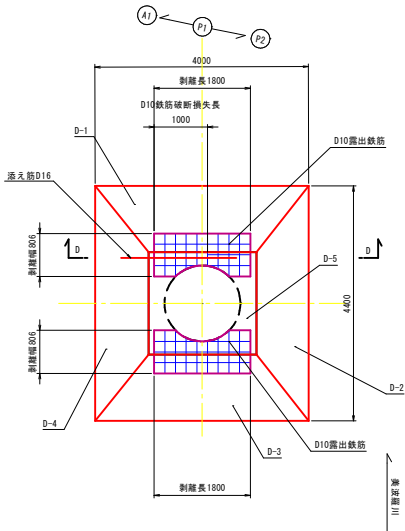
正面図



側面図

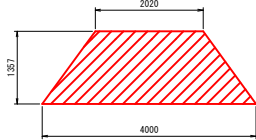


平面図



A - A

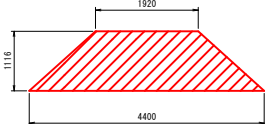
D-1, D-3



$A1 = (2.02 \times 4.00) \times 1.357 / 2 = 4.085m^2$

B - B

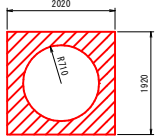
D-2, D-4



$A2 = (1.92 \times 4.40) \times 1.116 / 2 = 3.527m^2$

C - C

D-5



$A3 = 2.02 \times 1.92 \times 0.71 \times \pi = 2.295m^2$

凡 例

(損傷の形状寸法の単位はmmとする。)

表 示	損傷の種類
	腐食
	防食機能の劣化
	ひびわれ (開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.2mm以上0.5mm未満)
	ひびわれ (開口幅0.5mm以上1.0mm未満)
	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
	剥離
	鉄筋露出
	遊離石灰
	うき
	その他
	豆板・空洞
	路面のクラック
	漏水・滲水
	変形・欠損
	土砂詰まり・堆積
	補修済及び健全

チッピング (t=50mm) 数量表

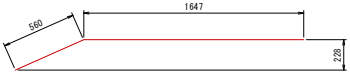
損傷番号	損傷	チッピング厚mm	面積m2
下部工 P1橋脚 基礎			
D-1	洗堀	50	4.085
D-2	洗堀	50	3.527
D-3	洗堀	50	4.085
D-4	洗堀	50	3.527
D-5	洗堀	50	2.295
合計			17.519

コンクリート打設工数量表

損傷番号	損傷	打設厚mm	面積m2	コンクリート体積m3
下部工 P1橋脚 基礎				
D-1	洗堀	150	4.085	0.613
D-2	洗堀	150	3.527	0.529
D-3	洗堀	150	4.085	0.613
D-4	洗堀	150	3.527	0.529
D-5	洗堀	150	2.295	0.344
合計			17.519	2.628

添え筋詳細

S=1:20

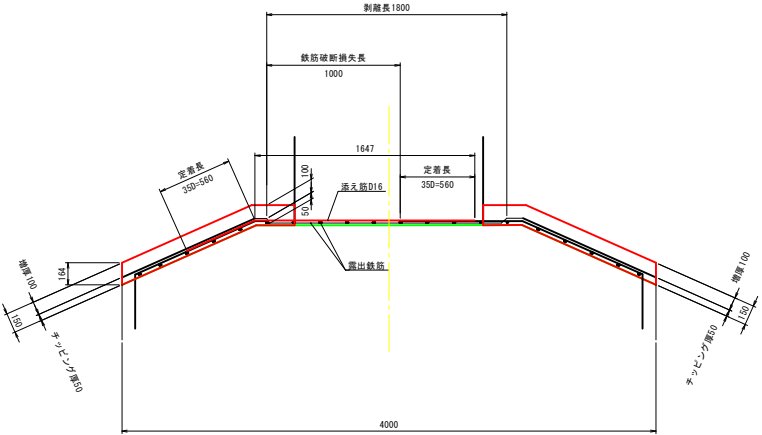


1 - D16 x 2210 (SD345)

単位質量 1.56kg/m
質量 2.210 x 1.56 = 3.4kg

D - D

S=1:20



※ 剥離部以外の配筋は想定である。

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託 (15m以上)
図面名	補修図 (その11)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:50 図面番号 13 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 設計部 土木課

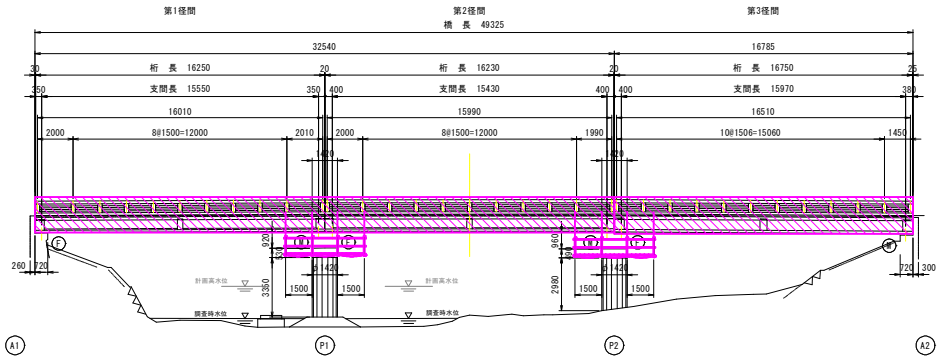
明賀橋 仮設計画図(参考)

S=1:150

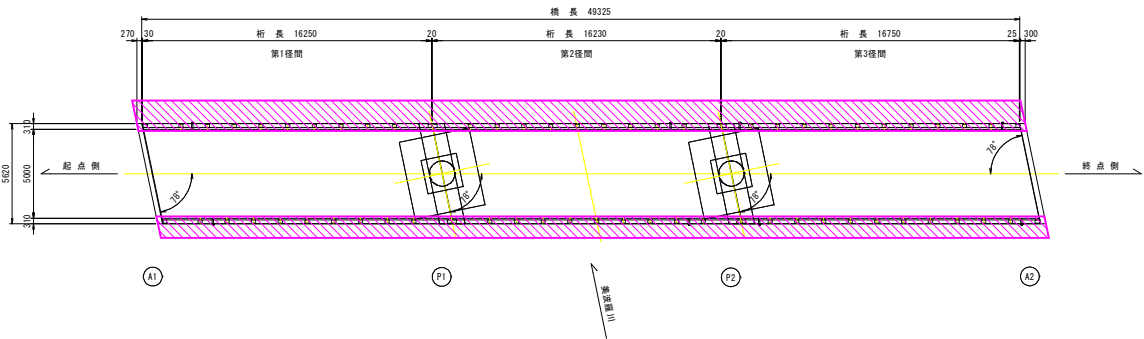
凡 例



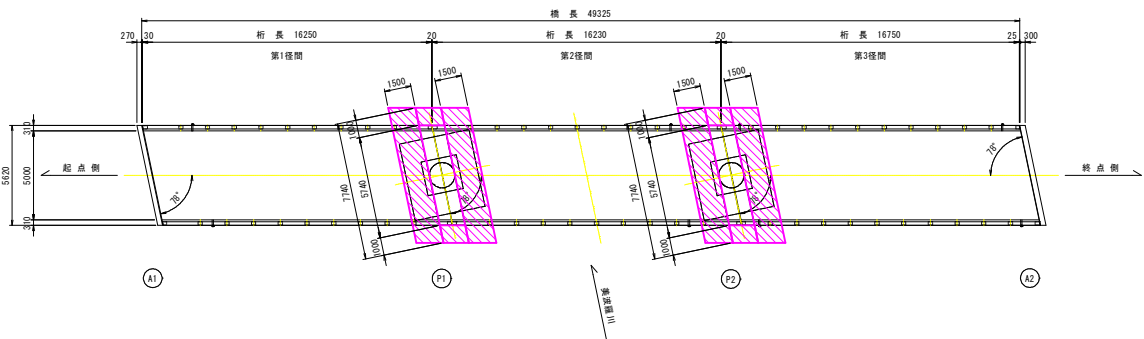
側面図



平面図(地覆補修工用足場)

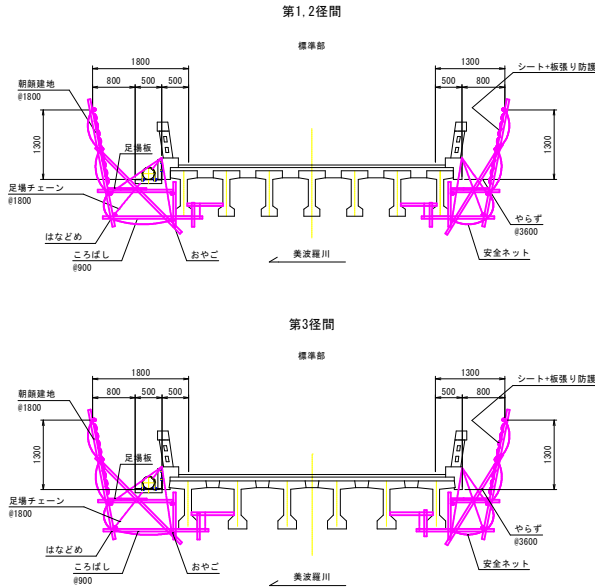


平面図(橋脚回り足場)



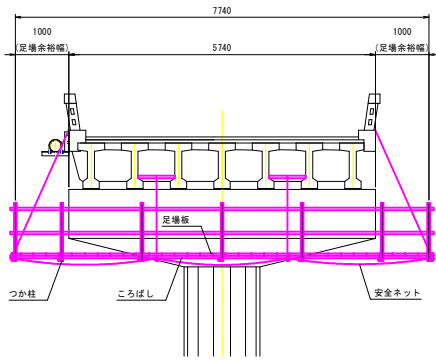
横断面図(地覆補修工用足場)

S=1:50



正面図(橋脚回り足場)

S=1:50



地覆補修工用足場数量	
第1.2径間	$32,540 \times (1.80 + 1.30) = 100.9 \text{ m}^2$
第3径間	$16,785 \times (1.80 + 1.30) = 52.0 \text{ m}^2$
合計	$= 152.9 \text{ m}^2$
橋脚回り足場数量	
P1橋脚	$7.74 \times 1.50 \times 2 = 23.2 \text{ m}^2$
P2橋脚	$7.74 \times 1.50 \times 2 = 23.2 \text{ m}^2$
合計	$= 46.4 \text{ m}^2$

注記
1)本図は、橋梁定額点検調査、現地調査を基に復元した。
2)仮設足場設置の際は、周辺状況を確認し、十分な安全確認を怠らないこと。

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁整備設計業務委託(15m以上)
図面名	仮設計画図(参考)
作成年月日	令和 5 年 3 月
縮尺	1:150, 1:50
図面番号	14 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社
事業者名	三次市 建設部 土木課

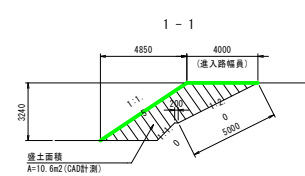
明賀橋 仮締切工図(参考図)

S=1:150

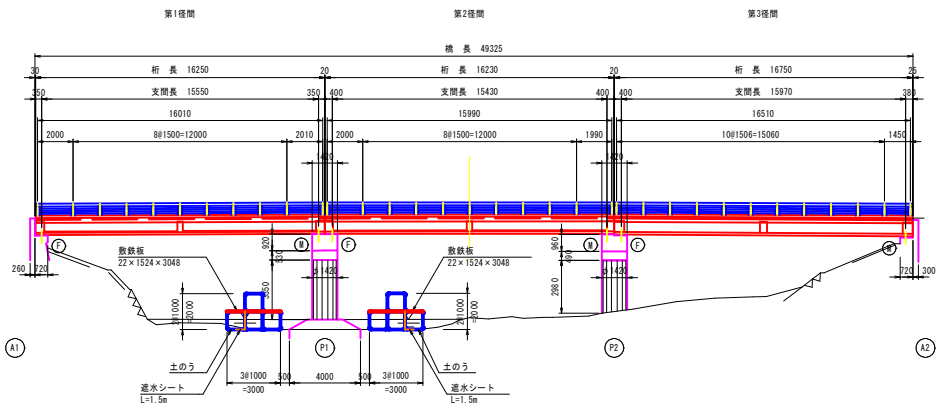
平面図



進入路断面図



側面図



注記
1) 本図は、橋梁定期点検調査及び前回補修設計成果を
を基に復元した。
2) 支保については固定、可動が現地計測で特定できな
かった為想定とした。

【明賀橋】

工事名	設計第33号 橋梁定期点検調査委託(15m以上)		
図面名	仮締切工図(参考図)		
作成年月日	令和5年3月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 15
会社名	中電技術コンサルタント株式会社		
事業者名	三次市 建設部 土木課		